

# 2012年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2013年3月13日（水）16時00分～17時30分

場所：仙台管区気象台第3会議室

開会の挨拶

出席者紹介

## 議 題

1. 支部長挨拶	2 ページ
2. 役員の交代	2 ページ
3. 2012年度事業報告	3 ページ
4. 2012年度会計報告	5 ページ
5. 2012年度会計監査報告	7 ページ
6. 2013年度事業計画案	8 ページ
7. 2013年度秋季大会について	8 ページ
8. 2013年度予算案	9 ページ
9. その他	11 ページ
(1) 全国理事会報告	11 ページ
(2) 事務局から	11 ページ

## 資 料

役員名簿（第28期2012年度）	12 ページ
東北支部規則	13 ページ
東北支部細則	14 ページ

## 1. 支部長挨拶

## 2. 役員の交代

- ・2013年4月人事により

川津支部長は定年退職

長谷川理事は転出

足立理事は転出

阿部会計監査は定年退職

- ・支部役員は、新年度第1回理事会で推薦補充

東北支部第28期役員の任期は2013年度まで

予定者

(牧原 康隆氏 川津支部長の後任 現札幌管区気象台長)

(菑澤 浩氏 長谷川理事の後任 現気象研究所企画室企画室長)

(高橋 清利氏 福島県からの地方理事 現前橋地方気象台長)

(白川 栄一氏 足立理事の後任 現本庁予報課予報官)

(小室 肇氏 阿部会計監査の後任 気象防災情報調整官)

※ 日本気象学会東北支部第28期役員名簿は、12ページのとおりです。

### 3. 2012年度事業報告

#### 1) 東北支部気象講演会

日時：平成24年10月31日（水）13時30分～16時30分（13時開場）

場所：山形県郷土館「文翔館」議場ホール（国指定重要文化財）

テーマ：科学からみる「雪害対策」と「樹氷今昔」

講演 ①「雪氷防災研究の最前線—科学で雪害を減らせるか？」

講師：阿部 修 氏（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所長）

講演 ②「アイスモンスター100歳、樹氷140歳」

講師：柳澤 文孝 氏（山形大学理学部地球環境学科教授）

後援：山形県、山形市、やまがたゆきみらい推進機構

参加人数：約60名

#### 2) 第3回 気象サイエンスカフェ東北（支部強化基金による活動）

日時：平成24年12月22日（土）13時30分～15時00分

場所：宮城野区中央市民センター 第1会議室

テーマ：地球温暖化の影響という観点からの農業問題に関すること

—地球温暖化とのかかわりについて考えてみよう—

話題提供：國分 牧衛 教授（東北大学大学院農学研究科）

「温暖化で食糧生産はどうなるの？」

参加人数：約35名

主催：気象学会東北支部・気象予報士会東北支部

共催：気象協会東北支局・仙台管区気象台

東北支部だより第76号(2013年6月発行予定)に開催報告を掲載予定

#### 3) 東北支部気象研究会

日時：平成24年12月11日（火）14時～17時

場所：仙台第3合同庁舎2F大会議室

発表：7題

参加人数：約30名

仙台管区気象台と共催

気象研究会の発表演題、著者（発表者に○）

- ・地球温暖化におよぼす化石燃料の消費ともなう排熱の影響  
○今清水 雄二（秋田大学工学資源学部 附属鉱業博物館）
- ・2007年1月福島県中通りで観測された強風に関する数値実験  
○三瓶 岳昭（会津大学 先端情報科学研究センター）
- ・ENVI-metを用いた庄内空港の乱流についての調査  
○佐藤 真樹（仙台航空測候所庄内空港出張所）
- ・2007年9月17日の停滞前線による大雨事例の解析  
○小笠原 敦・藤本 広美・高野 健志（秋田地方気象台）
- ・JMA-NHMを使用した台風Choi-wan(2009)の再現実験

- 濱田 真之・岩崎 俊樹（東北大学大学院理学研究科）
- ・JMA-NHMを用いた温暖化時における日本の水資源への影響評価
- 五十嵐 明・山崎 剛（東北大学大学院理学研究科）
- ・Navier-Stokes (NS) 方程式の新しい2次元軸対称解と台風モデル
- 高橋 光一（東北学院大学 人間情報学研究科）

#### 4) 東北支部だより

- 第72号（2012年 3月発行、4月発送）
- 第73号（2012年 7月発行）
- 第74号（2012年 10月発行）
- 第75号（2013年 3月発行）

#### 5) 支部理事会

- 第1回（2012年 6月22日，仙台管区气象台第3会議室）
- 第2回（2013年 3月13日，仙台管区气象台第3会議室）

#### 6) 日本気象学会奨励賞の推薦

今回は、東北支部からの推薦者はなし

#### 4. 2012年度会計報告

〔支部一般会計〕(2012年4月1日～2013年3月4日)

	予算額	決算額	差異
<b>I 収入の部</b>			
事業活動収入			
本部交付金	582,800 円	582,800 円	0 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	61 円	11 円
事業活動収入計(1)	582,850 円	582,861 円	11 円
<b>II 支出の部</b>			
事業活動支出			
事業費支出			
支部だより	290,000 円	266,600 円	23,400 円
支部気象講演会	250,000 円	214,057 円	35,943 円
支部気象研究会	35,000 円	7,280 円	27,720 円
2013 年度秋季大会	10,000 円	9,390 円	610 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	108,000 円	52,372 円	55,628 円
支部役員選挙	5,000 円	5,826 円	△826 円
事務費	5,000 円	13,527 円	△8,527 円
事業活動支出計(2)	718,000 円	584,052 円	133,948 円
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出	6,115 円	*1,248 円	4,867 円
予備費支出計(3)	6,115 円	1,248 円	4,867 円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	△141,265 円	△2,439 円	138,826 円
前期繰越収支差額(B)	141,265 円	141,265 円	0 円
次期繰越収支差額(A)+(B)	0 円	138,826 円	138,826 円

※マイナスの金額には、△印を付した。

\*1 気象サイエンスカフェ不足分を一般会計予備費から支出。

本部へは今後の収支も組み入れた2012/4/1～2013/3/31の会計を報告します。本会計報告には、第2回支部理事会費用30,000円程度と支部だより第75号発送費用14,000円程度が組み入れられていません。最終的な収支計算書は、新年度第1回支部理事会でご報告します。

〔気象サイエンスカフェ東北〕（支部強化基金による活動会計）

（2012年4月1日～2013年3月4日）

	予算額	決算額	差異
<b>I 収入の部</b>			
事業活動収入			
本部交付金	77,000 円	77,000 円	0 円
気象予報士会分担金		10,000 円	10,000 円
収入計(1)	77,000 円	87,000 円	10,000 円
<b>II 支出の部</b>			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	22,000 円	39,100 円	△17,100 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	20,000 円	14,298 円	5,702 円
(郵送費)		(6,160 円)	
(会場費)		(4,000 円)	
(会議費)		(4,138 円)	
役務費・交通費	20,000 円	34,850 円	△14,850 円
(役務費)		(15,000 円)	
(交通費)		(19,450 円)	
事業活動支出計(2)	77,000 円	88,248 円	△11,248 円
<b>III 予備費支出</b>	0 円	0 円	0 円
予備費支出計(3)	0 円	0 円	0 円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0 円	*1△1,248 円	△1,248 円


※マイナスの金額には、△印を付した。

\*1 不足額は、支部一般会計から補填

5. 2012年度会計監査報告

預金通帳，現金，領収書を照合の結果，誤りがないことを認めます。

2013年3月 8 日

日本気象学会東北支部会計監査 阿部 仁 

## 6. 2013年度事業計画案

### 1) 東北支部気象講演会

2006年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2006年度	山形市	中澤 高清	佐藤 威	
2007年度	青森市	板谷 宏之	児玉 安正	
2008年度	福島市	渡邊 明	大久保 忠之	
2009年度	大崎市	境田 清隆	大場 淳司	
2010年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明	
2011年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司	
2012年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝	

2013年度は青森県で開催予定です。

#### 【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

2014年度は福島県で開催予定。今後(2013年秋以降)準備を進めていくこととします。  
(担当理事は境田理事及び、福島県からの地方理事)

### 2) 東北支部気象研究会

秋季大会のため開催しない。

### 3) 東北支部だより

年3回発行(第76号、77号、78号)の予定。

### 4) 支部理事会

年2回(5~6月、3月頃予定)開催

2013年度第1回理事会は、例年どおり5~6月頃に開催したい。

### 5) 支部強化基金による活動

第4回気象サイエンスカフェ東北を、日本気象予報士会東北支部との共催により、仙台市で開催する。今後、ワーキンググループにより準備を進める。

### 6) 日本気象学会奨励賞などへの推薦

理事会と事務局で検討し、選考していく。

## 7. 2013年度秋季大会について

2013年度 日本気象学会秋季大会実行委員会 第2回資料 参照



## 8. 2013年度予算案

### 〔支部一般会計〕

	2012年度 予算額	2013年度 予算額	増減 [2013年-2012年]
<b>I 収入の部</b>			
<b>事業活動収入</b>			
本部交付金	582,800円	*1582,800円	0円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円
<b>雑収入</b>			
預金利息	50円	50円	0円
<b>事業活動収入計(1)</b>	582,850円	582,850円	0円
<b>II 支出の部</b>			
<b>事業活動支出</b>			
<b>事業費支出</b>			
支部だより	290,000円	230,000円	△60,000円
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円
支部気象研究会	35,000円	0円	△35,000円
2013年度秋季大会	10,000円	0円	△10,000円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
<b>管理費支出</b>			
支部理事会	108,000円	108,000円	0円
支部役員選挙	5,000円	20,000円	15,000円
事務費	5,000円	10,000円	5,000円
<b>事業活動支出計(2)</b>	718,000円	633,000円	△85,000円
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出	6,115円	88,676円	82,561円
<b>予備費支出計(3)</b>	6,115円	88,676円	82,561円
<b>当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)</b>	△141,265円	△138,826円	2,439円
<b>前期繰越収支差額(B)</b>	141,265円	138,826円	△2,439円
<b>次期繰越収支差額(A)+(B)</b>	0円	0円	0円

※マイナスの金額には、△印を付した。

\*1本部交付金は、支部会員194名×1,200円+35万円で計算

本部会計に合わせ、支部の会計も確定版としては4/1～3/31で計算したいと思います。この場合、第2回支部理事会費用30,000円程度と支部だより第75号発送費用14,000円程度が組み入れられるため、最終的な繰越金は97,000円程度となる見込みです。

変動分は予備費支出で調整したいと思います。

〔気象サイエンスカフェ東北〕（支部強化基金による活動会計）

	2012年度 予算額	2013年度 予算額	予算額増減 [2013年-2012年]
<b>I 収入の部</b>			
事業活動収入			
本部交付金	77,000円	*185,000円	8,000円
気象予報士会分担金		0円	
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円
収入計(1)	77,000円	85,000円	8,000円
<b>II 支出の部</b>			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	22,000円	30,000円	8,000円
講師謝金	15,000円	15,000円	0円
事務費	20,000円	15,000円	△5,000円
役務費・交通費	20,000円	25,000円	5,000円
事業活動支出計(2)	77,000円	85,000円	8,000円
<b>III 予備費支出</b>	0円	0円	0円
予備費支出計(3)	0円	0円	0円
当期収支差額(A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円

※マイナスの金額には、△印を付した。

\*1本部交付金は、申請額

## 9. その他

### (1) 全国理事会報告

常任理事会の議論の中から報告

### (2) 事務局から

#### ①東北支部会員数（個人会員）

2013年3月現在

県名	会員数	2012. 04
青森県	26名	25名
岩手県	18名	21名
秋田県	15名	13名
山形県	15名	16名
宮城県	93名	93名
福島県	27名	26名
合計	194名	194名

(2012年4月の時点では194名なので結果増減無し)

#### ②旅費等について

交通費については

青森は 21,000円 [10500円×2]

弘前は 22,300円 [11110円×2]

盛岡は 12,200円 [6090円×2]

山形は 2,100円 [900円×2+140円×2]

福島は 2,600円 [1280円×2]

仙台、岩沼は1,000円をお願いします。

※端数は100円単位に切り上げています。

## 日本気象学会東北支部第 28 期 2012 年度役員名簿

平成 24 年 6 月 22 日現在

支部長	川津 拓幸	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	足立 勇士	仙台管区気象台技術部予報課主任予報官
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	境田 清隆	東北大学大学院教授（環境科学研究科）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	丹治 和博	日本気象協会東北支局長
	長谷川 洋平	仙台管区気象台技術部長
地方理事	川原田 義春	山形地方気象台長
	児玉 安正	弘前大学大学院准教授（理工学研究科）
	高尾 俊則	青森地方気象台長
会計監査	阿部 仁	仙台管区気象台技術部次長
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	折笠 成宏	仙台管区気象台技術部気候・調査課調査官
	金濱 晋	仙台管区気象台技術部予報課調査係長

以上

## 日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正

- 第 1 条 本支部は社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内（技術部気候・調査課）に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。  
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。  
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（2～3 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。  
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。  
（1）事業計画および収支決算  
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

## 日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40. 11. 18	1項を改正
昭和41. 3. 15	7項を改正
昭和60. 3. 19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2. 28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6. 11	1項を改正

### 役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名地方理事3名とする。  
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもで行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上